

令和元年5月14日

令和元年度海上保安の日祝賀会

5月14日、東京の海上保安庁本庁において、安倍内閣総理大臣、石井国土交通大臣をはじめ、国会議員、在京大使のほか、多くの関係者のご出席の下、「海上保安の日祝賀会」を盛大に開催しました。

開会に際して、岩並海上保安庁長官は、「職員が一致団結するとともに、国際連携を一層進めながら、平和で豊かな海を守るべく、任務を全うする」と決意を述べました。

続いて、安倍内閣総理大臣が、新元号「令和」の由来と海上保安庁の徽章(きしょう)が「梅」であることに触れ、「新たな令和の時代にあっても、梅の徽章を胸に、岩並海上保安庁長官以下、全職員が一致団結し、荒波を乗り越え、「平和で豊かな海」という実を結んでほしい。」と、また、石井国土交通大臣が、「最新鋭の装備と70年に亘り脈々と受け継がれてきた「正義仁愛」の精神をもって、海の守りに万全を期してほしい」とそれぞれ挨拶されました。

さらに、乾杯の挨拶に際して、牧野国土交通副大臣は、「海上保安庁の業務が今後とも円滑に行えるよう、皆様方のご理解とお力添えをお願い申し上げます」と述べられました。



岩並海上保安庁長官挨拶



安倍内閣総理大臣挨拶



石井国土交通大臣挨拶



海上保安の日祝賀会の様子